

(ねんがじょう おもてめん)
【年賀状の表面】

ねんが
年賀はがき



自分の住所・氏名は裏面に書いてもいいです。
(じぶん じゅうしょ しめい うらめん 書いてもいいです。)

「年賀はがき以外で年賀状を出す場合」
(ねんが いがい ねんがじょう 出す ばあい)



年賀の朱書きを忘れずに！



(赤い色で書くこと) します。
(あかいいろでかくこと) します。

切手の下に「年賀」と朱書き
(きってした ねんが しゅがき)



ねんがじょう うらめん
【年賀状の裏面】

あけまして
おめでとう
ございます

①

昨年中はいろいろとお世話になり
ありがとうございました

②

みなさまのご健康を心よりお祈りいたします
今年もどうぞよろしくお願ひします

③

④

二〇一三年 元旦

⑤

⑥

〒242-0000

神奈川県大和市〇〇〇〇〇〇 ⑦



① 賀詞（お祝いの言葉）を大きめに書きます。

② 昨年 お世話になった お礼を書きます。

③ 相手にも 良い年であるよう 祈る言葉を書きます。

④ 終わりの言葉。

⑤ 日付は 年号から 書きます。西暦でも 元号でも かまいません。

⑥ 一言の 添え書きは、小さめの字で 短く 書きましょう。

⑦ 自分の 住所・名前を書きます。表面・裏面 どちらに書いてもいいです。

電話番号や メールアドレスを書く場合もあります。

① 賀詞 がし

「あけましておめでとうございます」

「新年おめでとうございます」
しんねん

「新春のお慶びを申し上げます」
しんしゅん ようき もう あ

「謹賀新年」
きんがしんねん

* 「新年あけましておめでとう」は間違いです。
しんねん まちが

「新年」も「あけまして」も同じ意味なので 両方書いてはいけません。
しんねん おな いみ りょうほうか

② 昨年 お世話になった お礼
さくねん せわ れい

「旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました」
きゅうねんちゅう たいへん せわ

「昨年はいろいろとお世話になりました、ありがとうございました」
さくねん いろいろ お世話 ありがとう

③ 先方にとっても 良い年であるよう 祈る言葉
せんぽう よとし いのことば

「すてきな年になりますように」
すてきな 年 とし

「よい年でありますように」
よい 年 とし

「くれぐれもお体を大切に」
くれぐれもお体 たいせつ

「みなさまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます」
みなさまのご健康 とご多幸 いの ことば お祈り 申し上げます

* 良い年であるよう 祈る言葉は、年賀状では 大切です。
よい 年 とし いのことば ねんがじょう たいせつ

④ 終わりの言葉

「本年もどうぞよろしくお願いいたします」

「今年もよろしく願います」

⑤ 日付

元旦は、一月一日の朝、という意味です。

年賀状に書かない方がいい言葉

枯れる・衰える・破れる・失う・倒れる・滅びる

「去る」も避けたい言葉なので「去年」ではなく「昨年」「旧年」に
しましょう。

年賀状の投函時期

年賀状は、十二月十五日から受け付けが始まります。元旦に年賀状を届け

るために、十二月二十五日までに出しましょう。

年賀状は松の内（一般に一月七日まで）に届けば失礼になりません。